

5.3 農地調査の結果

5.3.1. 区全体

足立区の農地面積の推移は図 5-18、上位 10 町丁目の農地率は表 5-20 に示すとおりである。

令和 5 年度調査の農地面積は 40.6ha であり、平成 29 年度調査から 14.5ha 減少している。そのうち、生産緑地地区は 175 箇所、27.07ha である（令和 5 年 11 月 6 日付足立区告示）。

農地は大きく生産緑地地区と宅地化農地に分けられる。生産緑地地区は市街化区域内の農地で、良好な生活環境の確保に効用があり、公共施設等の敷地と適している 300 m²以上の農地を都市計画に定め、建築行為等を許可制により規制し、計画的な保全を図る農地である。宅地化農地は、市街化区域内の農地のうち、生産緑地地区以外の農地である。

農地が最も多い町丁目は、入谷四丁目で 14.9%、次いで扇三丁目で 9.0%であった。

生産緑地地区は区西側に多くが分布していることが分かる（図 5-24）。

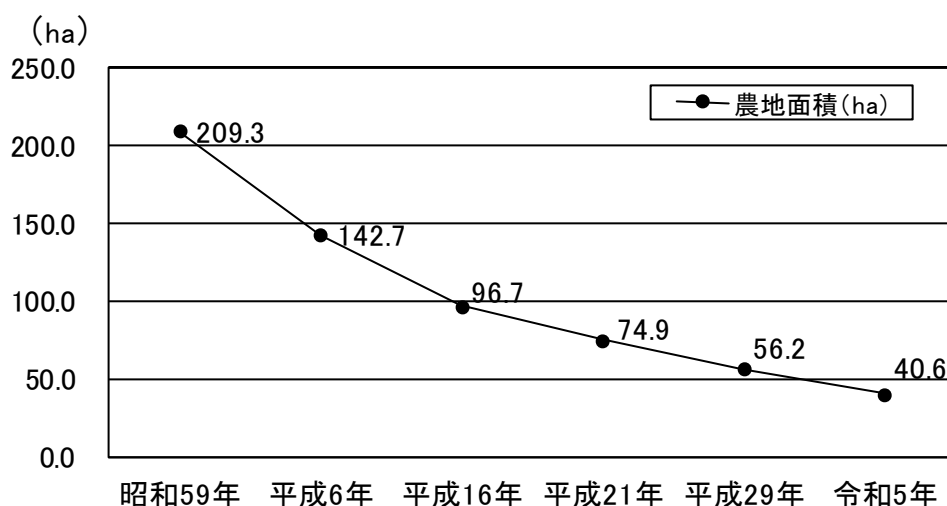


図 5-18 足立区の農地面積の推移

表 5-20 町丁目別の農地率(上位 10 町丁目)

順位	緑被率上位	
	町丁目	農地率 (%)
1	入谷四丁目	14.9
2	扇三丁目	9.0
3	興野二丁目	8.3
4	皿沼三丁目	7.3
5	古千谷本町一丁目	7.0
6	入谷五丁目	6.7
7	入谷二丁目	6.1
8	青井六丁目	4.6
9	入谷一丁目	4.1
10	江北六丁目	4.1

5.3.2. 農地の使用状況

足立区の農地の使用状況を表 5-21 に示す。

生産緑地地区は 268,820 m²で、区内の農地全体の 66.3%を占める。宅地化農地のうち一般農地は 105,487ha、農地全体の 26.0%、宅地化農地のうち公共の農地は 31,386 m²、農地全体の 7.7%であった。

生産緑地地区内に、農すくーる（農業体験型農園）が 5 箇所、10,210 m²、直売所兼農園が 10 箇所、20,712 m²が含まれる。

表 5-21 農地の使用状況

農地		箇所数	面積(m ²)	全農地面積に 対する割合(%)	
①生産緑地	農すくーる	5	10,210	2.5	
	直売所兼農園	10	20,712	5.1	
	農すくーる・直売所兼農園 以外の耕作地	178	237,898	58.6	
	計	193	268,820	66.3	
②宅地化農地	一般農地	直売所兼農園	2	912	0.2
		直売所兼農園以外の耕作 地	347	104,575	25.8
		計	349	105,487	26.0
	公共の農地	区民農園	13	23,081	5.7
		学校	34	2,727	0.7
		公園	11	5,579	1.4
		計	58	31,386	7.7
	合計		600	405,693	100.0

※集計結果は四捨五入しているため、合計値が各値を足し合わせた結果と合わない場合がある。

区内の直売所の状況を表 5-22、農業体験及び参加型農地の箇所と面積を表 5-23 に示す。

区内には直売所が 19 箇所あり、そのうち 12 箇所が農園内設置されており、J A の直売所等の直売所のみが 7 箇所である。

農すくーる、区民農園等の農業体験ができる農地は 63 箇所、41,596 m²で農地全体の約 1 割であった。

表 5-22 区内直売所の状況

直売所の種類	箇所数	面積(m ²)	全農地面積に対する割合(%)
直売所兼農園	12	21,624	5.3
直売所のみ	7	－	－
計	19	－	5.3

表 5-23 農業体験及び参加型農地の箇所数と面積

農業体験及び参加型農地		箇所数	面積(m ²)	全農地面積に対する割合(%)
生産緑地	農すくーる	5	10,210	2.5
公共の農地	区民農園	13	23,081	5.7
	学校	34	2,727	0.7
	公園	11	5,579	1.4
計		63	41,596	10.3

※集計結果は四捨五入しているため、合計値が各値を足し合わせた結果と合わない場合がある。



図 5-19 区民農園（入谷四丁目）



図 5-20 農すくーる（東保木間一丁目）



図 5-21 直売所兼農地（青井六丁目）



図 5-22 農地（扇一丁目）



図 5-23 農地減少箇所（栗原三丁目）

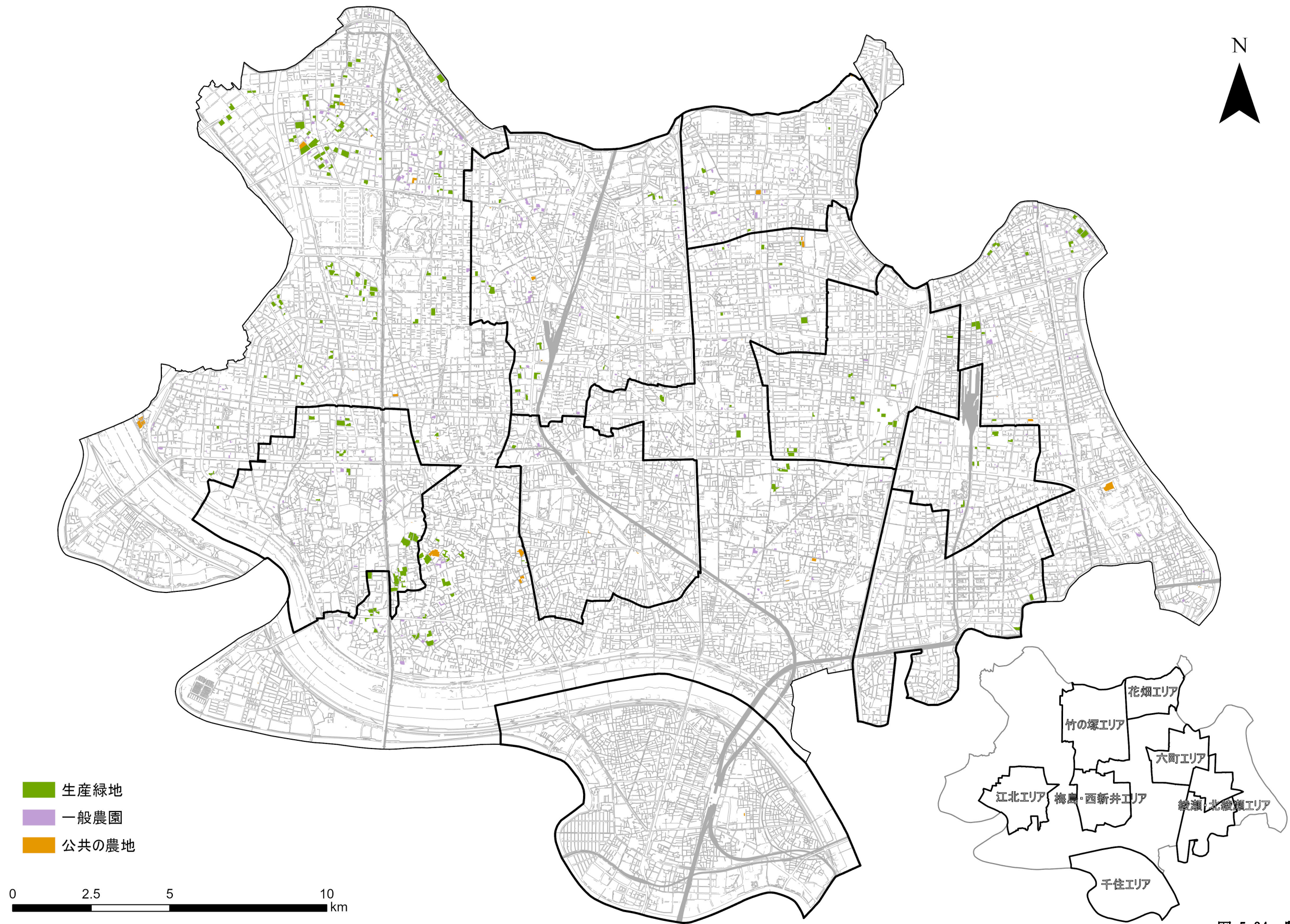


図 5-24 農地分布図

5.3.3. 農地の使用状況の推移

足立区の農地の使用状況の推移を表 5-24 に示す。

農地全体では 299 箇所、144,652 m²の減少であった。生産緑地地区は 5 箇所、39,476 m²の減少、宅地化農地のうち一般農地は 311 箇所、95,594 m²減少であり、一般農地の減少が大きいことが分かる。公共の農地の箇所数は 17 箇所増加し、面積は 9,582 m²の減少であった。区民農園が 2 箇所、5,372 m²減少している。

表 5-24 農地の使用状況の推移

農地			箇所数			面積(m ²)		
			H29	R5	増減	H29	R5	増減
①生産緑地	農すくーる		4	5	1	8,747	10,210	1,463
	直売所兼農園		16	10	-6	42,651	20,712	-21,939
	農すくーる・直売所兼農園以外の耕作地		178	178	0	256,898	237,898	-19,000
	計		198	193	-5	308,296	268,820	-39,476
②宅地化農地	一般農地	直売所兼農園	3	2	-1	3,415	912	-2,503
		直売所兼農園以外の耕作地	657	347	-310	197,666	104,575	-93,091
		計	660	349	-311	201,081	105,487	-95,594
	公共の農地	区民農園	15	13	-2	28,453	23,081	-5,372
		学校	22	34	12	5,778	2,727	-3,051
		公園	4	11	7	6,737	5,579	-1,158
		計	41	58	17	40,968	31,386	-9,582
	合計		899	600	-299	550,345	405,693	-144,652

※本年度調査では未耕作地を調査対象外としたため、平成 29 年度調査から未耕作地は除外して推移を比較した。

※集計結果は四捨五入しているため、合計値が各値を足し合わせた結果と合わない場合がある。